

北方民族博物館・網走天都山

8.1

sat

北をめぐる語りと朗読―旅する詩人たちの北極圏

日時 2026年 8月 1日(土) 10:00-11:30

北方民族博物館講座

旅する詩人たちによる、

北極圏と北海道のお話と詩と音楽です

会場 北海道立北方民族博物館 講堂

北海道網走市字潮見 309-1 電話 0152-45-3888

講師 小島敬太、管啓次郎、中村和恵

対象 一般 20名(要申し込み)

参加 無料

サントサウレ・女満別

2026

8.2

sun

夏の湖畔の歌語り―旅する詩人たちの朗読と演奏

日時 2026年 8月 2日(日)

10:00開場、10:30開演 -12:00

会場 sunto saule 喫茶サントサウレ

JR女満別駅すぐ(地図裏面)

北海道網走郡大空町女満別西一条 1-2-5

出演 小島敬太、管啓次郎、しまちち、中村和恵

先着 20名ぐらいまで

駐車場 12台

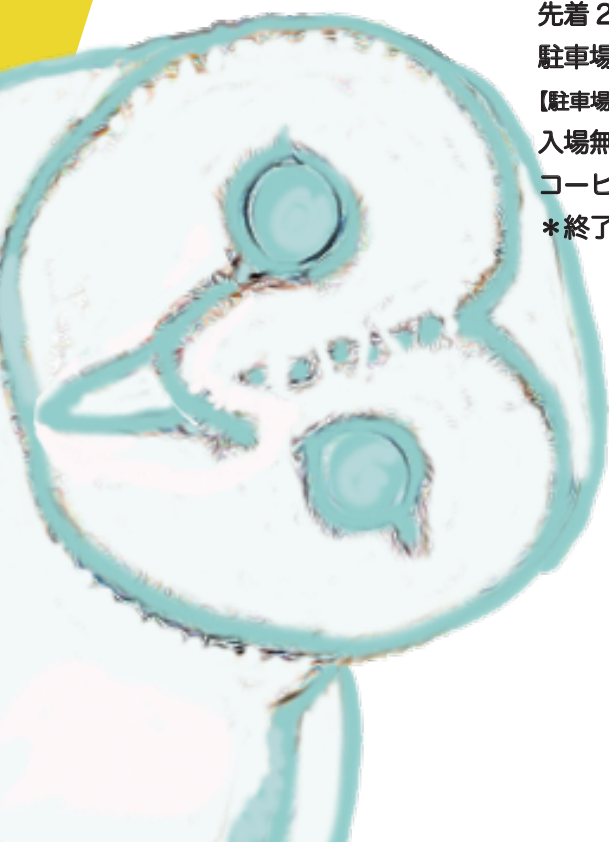
【駐車場は、なるべく JR女満別駅の駐車場をご利用ください】

入場無料 投げ銭歓迎

コーヒーオーダー可(通常価格)

*終了後は通常のカフェ営業になります

世界中の物語を読み聴き
うたを紡いできた旅する詩人たちが
オホーツクにやってきます



出演者プロフィール



菅啓次郎

詩人、エッセイスト、比較文学研究者。
明治大学理工学研究科建築・都市学専攻総合芸術系教授(批評理論)。
地水火風という自然力がニンゲンにおよぼす力、そしてヒトと他の生物種(植物・菌類・動物)との関係を考えている。
代表的な著作に『エレメンタル』(左右社)、『斜線の旅』(読売文学賞)、詩集『PARADISE TEMPLE』(Tombac)など。
元ASLE-Japan(文学・環境学会)代表。
東京在住、犬&狼好き

小島敬太

音楽家・作家・翻訳家。
シンガーソングライターとして、NHKみんなのうた「毛布の日」を発表。
2011年から古川日出男・菅啓次郎・柴田元幸とともに朗読劇「銀河鉄道の夜」の活動をしている。
著書に『あくびなかまとはらっぱで』(絵・鬼頭祈、偕成社、2025)、
『こちら、苦手レスキューQQQ!』(木下ようすけ絵、白水社、2020)、
『サーミランドの宮沢賢治』(菅啓次郎との共著、白水社、2024)など。訳書に『中国・アメリカ 謎SF』(柴田元幸との共編訳、白水社、2021)など。
神奈川在住、毛布好き



(写真撮影:朝岡英輔)

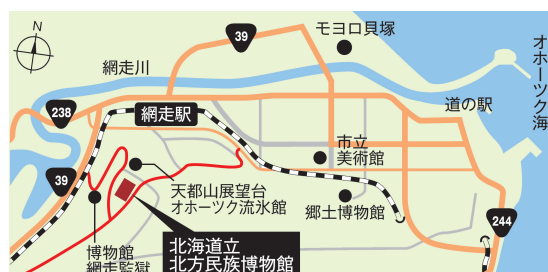


中村和恵

詩人、もの書き、比較文学者。
明治大学法学部・教養デザイン研究科教授(比較文学比較文化)。
詩や話、随筆を書きながら、英語圏を読み漁るため世界をけんけんばと旅するうちに
先住諸民族の土地にたどり着き、気がついたら人生はフィールドワークに。
詩集『トカゲのラザロ』(紫陽社1996)、エッセイ集『日本語に生まれて一世界の本屋さんで考えた』岩波書店(2013)、など。
女満別&東京在住、庭&原っぱ好き

しまちち

*8月2日@サントサウレ限定出演
未詩人(現在詩集準備中)、朗読&音楽シンクロナイザー、caféそら店主。
札幌・俊カフェ発行のバイアニュアル冊子『ツツル』に詩作品発表、Facebookで「五十音式一行連詩」継続中、
クラシック音楽とともに読む左川ちか(2023@北海道道立文学館)や谷川俊太郎(2022~2024@俊カフェ「クラ読」)などの朗読パフォーマンス活動。
女満別在住、ポリフェノール好き



北海道立北方民族博物館
Hokkaido Museum of Northern Peoples

